

欧州馬術レポート

週刊Gallop 2022年1月号掲載



日本中央競馬会所属

◆佐々紫苑

(さっさ・しおん)

1995年東京都生まれ。早稲田大学卒。2012年全日本ジュニアライダー総合馬術選手権優勝。15、16年全日本ヤングライダー総合馬術選手権連覇。20年4月にJRA日本中央競馬会入会。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

馬心伝心 —奮闘記part II—

佐々紫苑

Shion Sassa



以前、オランダでの競技馬の歯科検診のお話をしましたが、今回は日本でのお話です。日本では、歯科の定期検診自体まだそれほど浸透していませんが、1年に2〜3回伸びる馬の歯は、競技馬でなくとも定期的に長いやすりのようなものや電動機器でエナメルポイントを削るなどのメンテナンスが必要です。

ミニチュアポニーの『オレオ』と、ハープリンガーの『クッキー』を幼稚園で飼っていますが、最近食事に時間がか

かるようになったオレオの歯をまずチェックしてもらいました。馬は甘いものを食べて虫歯になるようなことはあまりありませんが、歯の一部が伸びてほお内側の粘膜や舌を傷つけたり、かみ合わせがずれてしまうことが多いそうです。イギリスで歯科の専門技術を学んできた獣医さんが大きな研磨機で、オレオの左右のバランスを見ながら音を立てて削りました。クッキーは前歯の当たり方(バランス)がゆがんでいたため、調整してもらいました。

前歯は奥歯の当たり方を調整している役割もあるので、奥歯の尖っているところを削るだけでなく、前歯も定期的に整えることがとても大切なそうです。私も初めて研磨に挑戦させてもらいましたが、器具を固定して思うように削ることは本当に大変な作業でした。



⑤イギリスで専門知識を学んだ水上獣医師
⑥私も研磨に挑戦 (本人提供)



Let's enjoy Dressage

高田茉莉亜

Maria Takada



アイリッシュアラン乗馬学校所属

◆高田茉莉亜

(たかだ・まりあ)

1994年東京都生まれ。慶應義塾大学卒。2010、11年に全日本ジュニアライダー馬場馬術選手権連覇。16年の全日本ヤングライダー馬場馬術選手権で史上初の4連覇を達成した。17年より日本馬術連盟アンバサダーライダー。

愛馬ブリタニアと一緒に日本に帰国し、1カ月がたちました。私がスタッフとして所属している静岡県御殿場市のアイリッシュアラン乗馬学校は、中学生の頃からお世話になっている私にとっては居心地の良い古巣ですが、ブリタニアにとってははじめての環境。少しずつ慣れてきてくれて、トレーニングも今のところ順調です！

アイリッシュアラン乗馬学校は馬場馬術専門のクラブで、在籍する競技

馬の多くがブリタニアのようにヨーロッパから輸入されてきた馬ですが、馬場馬術競技で活躍する引退競走馬も現在10頭います。多くは競走馬時代から田所英子さんが所有されている馬で、中でもオープン特別で勝った経験もあるマヤノライジン(父マヤノトップガン)は、この乗馬学校で馬場馬術のリトレーニングをされて、毎年開催されている内国産馬の日本一を決める大会『全日本馬場馬術内国産選手権』で3位に入賞を果たすほどにまで成長しました。

そして私は今、アフラマズダーという引退競走馬に乗せていただいています！脚さばきがとてもきれいな馬なので、今後の活躍に期待しています。

現在リトレーニング中のアフラマズダー。人懐っこくてかわいいです！
(本人提供)

